

| |
|--------|
| 大阪市立 |
| 思齊 |
| 特別支援学校 |

| |
|------------------|
| タイトル(テーマ) |
| 「くいしんぼうゴリラ」とあそぼう |

思齊 No. 号
平成 年 月 日

| |
|------------------------------|
| 対象の児童生徒 |
| 小学部 <input type="text"/> 3 年 |

| |
|---|
| 困り感 |
| <ul style="list-style-type: none">・小学部3年生10人は発達段階に差がある。10人が楽しみながら参加できる題材、教材を工夫したい。・ipadが好きな児童が多いが、授業の中で効果的に使えるように考えたい。 |



| |
|---|
| 取り組みの内容・授業の様子等 |
| <ul style="list-style-type: none">・エプロンシアター『くいしんぼうゴリラ』の発展的な学習として取り組んだ。・教師が音楽にあわせて、エプロンシアターで『くいしんぼうゴリラ』を子どもたちに見せる。・ゴリラがいろいろな食べ物を食べて、甘い、すっぱい、苦いなどいろいろな表情を見せる様子を楽しむ。・その後、「もっと大きなゴリラがやってきたよ」と段ボールで作ったゴリラの人形を提示する。その人形の開いた口に、用意してあった果物の模型を入れると、ipadタッチャーとスイッチをつないだipadが作動して「ありがとう!」「ごちそうさま」とお礼の言葉が聞こえてくる。自分の働きかけによって反応が表れることで子どもたちは意欲的に活動できるのではないかと思った。 |

| |
|--|
| 成果と今後の課題 |
| <ul style="list-style-type: none">・子どもたちは「ごりらがしゃべったよ」「『ありがとう』って聞こえたよ」などの反応を見せた。・自閉症スペクトラムの子どもたちは、視覚情報が優位なので、耳から聞こえる刺激に対しては、ほとんど反応しなかった。・ipadの音と一緒にゴリラの腕が上がるなど視覚的な変化があればもっとわかりやすかった。・スイッチをつないでいたので、子どもに押させる場面も作ればよかった。 |